

夏はヒレ釣中であリます!

ヒレが黄色くてナニが悪い



下派手のトップ&お約束のボトム

夏を迎え各地で好シーズンを迎えたキヒレ。クロアインに対してとかく格下に見られがちだけど、その性格はどう猛そのもの。ルアーをガンガン追つて、とことん楽しませてくれる。そんなキヒレの攻略法を(トップ)と(ボトム)に分けてご紹介。この夏は、ヒレの黄色いやつがアツい!

お約束のボトム



よっしゃきたきた!

ズル引きすれば、都会の川でボツボツ



毎年4月頃になると、大阪湾の汽水域ではアユを始め様々な雑魚が遡上を始める。それに合わせて、キヒレも湾岸から河川へと移動を開始。そこから10月くらいにかけてのロングランで、汽水域でのゲームが楽しめる。"底スル系"のルアーを使ったスタイルが一般的で、「キャスト→着底→ボトムをゴリゴリと引く」と超シンプル。比較的イージーに釣れるとあって人気が高い。

ANGLER
荻原幸一郎 (はぎはら こういちろう)
1979年、鹿児島県生まれ。大阪府在住で、近畿エリアを中心にソルトルアーの釣りはなんでも楽しむ。昨年に長女が生まれ、現在は釣り子守りに奮闘中。自身のブログ「Haggy&Horny」で最新の釣果を発信中。梅田の「ルアーショップIBAN」に勤務。

そんなキヒレ釣にも、数々の釣れるキヒレがある。地形や流れの変化を睨むことで釣果が伸び、タフなコンディションでも釣れるようになる。今回は、台風の大雨による影響でアマゾン川のような激流・激濁りになる川に釣行してみた。増水して茶色く濁った流況は、普段の倍以上とあったところ。普段なら「今日はアカナ……」となる厳しいコンディションながら、あえて挑んでみた。

朝マヅメ、河口から約6キロ上流に架かる十三大橋の周辺でゲームを開始。足元はゴタゴタで護岸されておいて、石のすき間にはカニやエビなど甲殻類が多く、満潮の前後には魚を捕食しようとする高活性の魚が多い実績ポイントだ。まずは、岸際にキヒレが寄っ



右 シューバスが出ることもしばしば。これはこれで楽しい! / 左 釣友が良型のキヒレをゲット。テキサスリグで確実に底を探ったのがきっかけ



橋脚周りもお約束! ヨレに着いたらやる

橋脚に当たって出来る流れのヨレは、ベイトがたまりやすい。キヒレが待ち構えるにも最適なスポットだ

ていないかチエック。1.8グラムのジグヘッドにチリルをセットし、足元から探っていく。落とし込みの前の釣り針に似たスタイルで、これがハマるとゲーム展開が極めて楽になる。

しかし反応はなく、ならばと足元から探り、ゴタゴタと砂地の境目をチエック。ベイトタックルに持ち替え、テキサスリグとチヌ職人バグアンツXで探っていく。

最近、徐々に広まっているのが、このベイトフラインスタックル。近場を手返し良く探るときは極めて効果的で、感度も高いミニカゲアガリや数石周りに釣れるカゲアガリを探るのに持ってこいだ。深場から遠場へ探り上げてくる形になるので、ロッドを立てた状態でもルアーを引くといひ。

速い流れを懸ってヨレに入っていく。ゴタに当たってながらズル引き、ゴタに当たってながらズル引き、ゴタに当たってながらズル引き。速い流れを懸ってヨレに入っていく。ゴタに当たってながらズル引き、ゴタに当たってながらズル引き、ゴタに当たってながらズル引き。

流れのヨレを狙い撃ちで手堅く本命キヒレ

その後は反応がないので、少し上流に移動。橋が並んで架かってエッジの鋭い流れを探る。石を蹴り、流れのヨレ、シェードなど変化に富んでいる。

普段は橋脚の間にあるミオなど、を丁寧に探るが、この日は流れがかなり速い。そこで橋脚にテキサスリグを投げ、ヨレまでドリフトさせてみる。

すると、ルアーがヨレに入った瞬間にロッドとバイト。なんと、この日、ロッドとなるキヒレを釣り上げた。

やっぱり便利、キヒレ釣りの必需品



リリースグリップRG200 (黒鯛工房)

キヒレを取り込むとき、素手でやるのは危険! グリップがあれば安全にランディングできて魚体を傷付けずに済む。写真撮影のときも便利だ。これは超軽量かつコンパクトなので持ち運びのじゃまにならず、何よりカッコイイ(笑)。

リグで使い分ければ完璧!

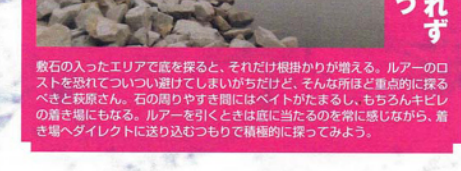
- ショートレンジ用**
ロッド……ul-76/パワーセーバー (top-Phish)
リール……ルビナス2506 (ダイワ)
ライン……WX8 GesoX0.6号 (YGK/よつあみ)
リーダー……ブラックストリーム2号 (サンライ)
- 基本中のズル引き用**
ロッド……ロココマッコLM-762KL "KuRo" (ジャストエース)
リール……イグジスト250BR (ダイワ)
ライン……G-soul WX8 0.8号 (YGK/よつあみ)
リーダー……ブラックストリーム2.5号 (サンライ)
- テキサスリグ用**
ロッド……ロココマッコLM-732KML-B "BLAST" (ジャストエース)
リール……メタニウムM6 (シマノ)
ライン……パワープロ0.8号 (シマノ)
リーダー……ブラックストリーム2.5号 (サンライ)

大抵の中心部からほど近い間。アクセスが抜群に良く、それによってキヒレ・チヌの釣果も極めて多いのが魅力だ



キヒレ釣り ふと眺めれば 大都会

数石はキヒレだらけ!



根掛かりを恐れずガンガンいこう

数石の入ったエリアで底を探ると、それだけ根掛かりが増える。ルアーのロストを恐れてついつい避けすぎてしまいがちだけど、そんな所ほど重点的に探るべきと荻原さん。石の回りやすき間にはベイトがたまるし、もちろんキヒレの置き場にもなる。ルアーを引くときは底に当たるのを感じながら、着き場をダイレクトに送り込むつもりで積極的に探っていく。

基本中の基本パターンは(ズル引き)

リグが底に到着すると感じる。浅い所ではロッドを立てた状態で引く。根掛かりをある程度防げる。キヒレの活性が高いときは速く、低いときはスピードを落とすようにして引く。見ると効果的。

食いが渋ければ(リフト&フォール)

フォールで1回ずつ着底させながら手前まで探っていく

バス。その後何回かバイトはあつたものの、流れが速いからバイトに出る前に食いついてくるせいかヒットには至らない。更に上流にある干渉のポイント。根掛かりが少なくなったので、テキサスリグをアプクロスに投入。底をドリフトさせてみると、同行した釣友がTKフライで待望のキヒレを釣った。その後はアタリはあるが、ヒットには至らず。出合い頭で食うためか、フッキングが決まらなかつた。

そのうち流れがやや穏やかだし、岸際にヨレが出来たタイミングで、肩射らって根魚ボンチヌスベシヤル1.5と7gのカラーバグアンツを投入。すると3秒ほど経たぬうちに、流れる強い所から弱いたウンションがあれば、皆さんもぜひ試してみてください。

追いやすなり、比重の小さいポイントが吸い込みやすかったのだから、また、連続してそうなる危険性も高くなる。今回は、増水でコンディションが急激に変化したのもヒレが釣れるのを確認できた。キヒレは速い流れを嫌うわけではない。追っても食いが悪くなるだけのような。フットさせてみると、同行した釣友はヒットに持ち込めたことが分かったのは、大きな収穫だった。

ボトムゲームは手軽に釣れるのはもちろん、タフな条件のなか魚を1から探すのも楽しい。今回釣ったアタリは大阪の中心部からほど近い、アクセスも抜群にいい。もちろん、他の地域でも似たパターンでキヒレは釣れる。似たパターンでキヒレは釣れる。似たパターンでキヒレは釣れる。似たパターンでキヒレは釣れる。

増水による濁りのなか、まんまとキヒレをキャッチ。確実に底を取れるルアーで探れば、ヒット率がグンと上がる!

「ゼットイ釣る!」超実績ルアー

リグやルアーは、狙うポイントの距離や水深に合わせて使い分ける。大まかに分類すると、基本となるのはボンボンを始めチヌ用のルアー。リグは、ちょい投げして浅場で探るときはジグヘッドで、遠投したり深場で確実にボトムを取りたいならテキサスリグといったところだ。今回のように川が増水して流れの速いときは、確実にボトムを確保することを条件に選ぶ。



チュレール (HAGGY) チヌヘッド0.9~1.8g (アタリ)

ショートレンジ用
テキサスリグ
フック……トランプフック#3&4 (NOIKE) シンカー……タンクステン製パレットシンカー 5&7g
リフトルアー……チヌ職人バグアンツ (シマノ)、モシヤル (ベイトプレス)、TKフライ (シマノ)

根魚ボンチヌスベシヤル1.5と7g (CC-KAYE) パルクレイガルブインチホック (シマノ)

チヌ職人バグアンツ
モシヤル



ボトム攻めは釣れますよ!